

7-4-1 支部助成審査検討WG

1. 主な活動の記録

(1) 支部助成審査検討WGの開催

平成30年6月6日にWGを開催し、各支部から出された助成申請を審査した。その後、関東支部から追加申請があったが、これについてはメール審議とした。

(2) 活動の目的

本WGの目的は、支部助成金審査ガイドラインに沿って、各支部申請活動の目的を審査し、交付する助成金を整理し、中期行動計画特別委員会へ提案することである。申請に対する採択の判断規準は、「ガイドライン」に従い以下を基本とする。

- ① 協会の社会貢献活動にふさわしいもの
- ② 一般市民を対象とし、協会活動への理解が深められるもの(会員を主体としたものは、場合により一部除外も考慮)
- ③ 公共事業のあり方などを発注者に働きかける活動

(3) 平成30年度の活動

各支部から申請された活動予定案件に対してWGを開催して審査し、支部助成金の趣旨に沿わないものを非採択とした。また、いくつかの申請案件については助成金の趣旨に適合するよう内容の一部変更を求めた。その結果、最終的に別表のように31件が採択された。助成金の総額は2,219万円で前年の2,189万円を30万円上回った。それぞれの活動は協会の活動方針に即しており、有効なものであると判断した。

なお、助成対象となる活動については、社会貢献活動、広報活動、発注者への各種働きかけ等とされており、協会会員を対象とした支援を意図した活動は対象としていない。申請事案において、会員、非会員双方を対象とした企画については参加者比率に応じ非会員相当分の助成を申請するケースが多いが、必ずしも統一されていない。については、今後の取り扱いを明確にするよう、審査ガイドラインに準じた検討整理を進める必要がある。

2. 次年度の活動について

次年度も、予算は2,000万円を基本として「ガイドライン」に基づき募集・審査を行う予定である。本助成金は中期行動計画の支部での実践活動を助成するものであるが、各支部は工夫を凝らした多彩な活動を展開していると考える。

平成30年度 支部助成金支給実績

支 部	活 動	助成額(万円)
北海道①	出前講座の継続実施	88
	② 社会資本体験のための見学会の実施	17
	③ 大学・高専生への広報活動	15
	④ 社会資本絵画コンテスト	3
	⑤ 社会資本整備がテーマの講演会の実施	36
東 北①	平成29年度講演会	115
	② 高校生「橋梁模型」作品発表会	25
関 東①	「グローカル関東」の発行	165
	② 就職学生へのPR	60
	③ 出前講座用コンテンツ作成	70
	④ 「環境ビジネス」に関する講習会	5
北 陸①	美化・清掃活動及び見学会活動	44
	② 建設コンサルタントのPR	126
	③ 出前講演(小学校・高校・大学)	79
	④ 合同企業セミナーへの参画	20
	⑤ 「ダ・ヴィンチ祭」への参画	13
	⑥ 若手技術者ワールドカフェ開催	18
中 部①	打ち水大作戦 in 名古屋への参画	25
	② 建設コンサルタントフェアの開催	187
	③ カルチャーセミナーの開催	14
	④ 河川技術セミナーの開催	25
	⑤ 「学生交流広場」への出展	49
	⑥ 業務技術発表会	15
近 畿①	近畿の社会資産共有活動	95
	② コンサルタントの魅力発信広報活動	80
	③ インフラ整備における建設コンサルタントの役割広報活動	125
中 国①	社会基盤整備についての講演会	120
	② 防災教育支援及び防災活動への参画	120
	③ 若手技術者の会イベント	20
四 国①	学校教育・生涯教育への支援活動	145
九 州①	地域の夢・アイデア発掘・活用事業	300
合 計	全31件	2,219

(支部助成審査検討WG WG長 松田 寛志)